

平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 手話教師センター

1 事業の成果

【育成】定例会を年に4回実施した。△日本手話ブラッシュアップ講座を4回実施した。4回のうち3回は定例会のある日の午前中に実施し、残る1回については午前・午後を通して実施した。△手話教授法講座(ナチュラルアプローチ講座)を開講した。また、ナチュラルアプローチを復習したい人のためにステップアップ講座を実施した。

【研修】大会は国立民族学博物館と共催の形で行なった。集中研修会は年に2回行なったが、参加人数が例年より減少した。手話コロキウムは年度中に4回実施した。自主研修会は16件と増加したため助成金が予算数より超過した。

【派遣】企業への手話講師派遣は4社、個人レッスンは個人が2件、大学教員が2件であった。

【開発】DVDプロジェクトについては、(株)アウトソーシングビジネスサービス ダブルピーグループと契約を交わした。

【翻訳・通訳】日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上支援事業(日本財団)はフェーズ2(1年目)の段階に入った。翻訳講座(e-ラーニング講座含む)、講師養成講座、ろう通訳者養成講座、フィーター養成講座、通訳理論講座、通訳OJTプログラムを実施した。また、新規のものとして学術分野における弱点克服セミナーを行なった。

【啓発】ホームページ、Facebook、ツイッター等で広報、啓発をおこなった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
手話教師育成事業	定例会の開催	年4回	国立オリンピック記念青少年総合センター	15名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	1,452
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年5回	国立オリンピック記念青少年総合センター	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約80名	
	ナチュラルアプローチ手話教授法講座への教師派遣	4-9月	東京(中野)	3名	手話教師をめざすろう者及びコーダ 10名	
	ステップアップ講座への教師派遣	4-8月	東京(中野)	3名	ナチュラルアプローチ講座を終了した者 10名	
手話教師研修事業	集中研修会	年に2回 5月 12月	国立オリンピック記念青少年総合センター	20名	手話教師 約120名	1,641
	日本手話教育研究大会	年に1回 7月	国立民族学博物館	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 約200名	
	手話教師育成指導者研修会	年に1回 2月	石和温泉(山梨)	1名	手話教師指導者 約20名	
	手話教師自主研修会	通年	東京	6名	手話教師 約180名	
手話教師派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	手話教師30名 学生・手話学習者/一般市民 約2,500名	2,881
手話教授法に関する教材開発事業	DVDプロジェクト	通年	事務所	2名	実績なし	-

翻訳・通訳に関する事業	翻訳講座(e-ラーニング講座含む)の開講	通年	三田(田町) 代々木・池袋	3名	手話学習者・手話通訳者等 約60名	8,478
	通訳理論講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	ろう者(指導者等)・ろう通訳者 手話通訳者等 21名	
	ろう通訳者・フィーダー養成講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	通訳をめざすろう者、フィーダーをめ ざす手話通訳者 8名	
	通訳OJTプログラム	通年	東京・大阪・ シンガポール等	2名	ろう通訳者、フィーダー等 約100名	
	学術分野における弱点 克服セミナー	通年	東京	2名	ろう教師、ろう通訳者等 約250名	
ろう者特有の文化に関する普及啓発事業	手話教師センターのホームページを設置、運用	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコー ダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	57